

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援・放課後等デイサービス ともともびじょん				公表日	令和8年3月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		人数に分けてフロアを分けている 身体の大きさに合わせて机の高さなど調整し 正しい姿勢を保てるよう工夫している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		こどもの状態に対応できるように職員配置をしている	子どもの特性やその日の状態により支援の必要度が変わるため、状況に応じた柔軟な職員配置や役割分担について引き続き検討して行く	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		安全配慮として階段手前で二重ロックをかけている。使う教材だけを出し、集中できるようにしている。	子供ひとりひとりの特性や発達段階に応じてより分かりやすい環境設定や視覚的支援について継続して工夫していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		常に清潔を心がけて環境にも配慮している	子供が安心して活動できる環境を維持するため、環境整備や安全面への配慮について定期的に見直しを行ないより過ごしやすい空間づくりを継続していく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		クールダウンする時や個々で指導員と話をする部屋を用意している	個別対応が必要な場面が重なる場合もあるため、こどもの状態に応じたスペースの確保や環境調整について引き続き検討して行く	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		業務上の問題点や、療育お内容について全員が参加している	日々の振り返りや情報共有をさらに充実させ職員間での共通理解を深めながらより効果的な支援につなげていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		評価表で頂いた意見は、保護者の方の意見として改善につなげるようにしている	保護者から寄せられる意見や感想を丁寧に受け止め必要に応じて事業所の取り組みに反映できるよう引き続き体制を整えていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		会議や研修の実施機会を多くして、さらに普段の会議からも聞き取りをしている	職員一人ひとりの気づきや提案を活かせるよう、意見交換の機会を確保しながら業務改善に繋げていく取り組みを継続する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	外部研修及び事業所内研修の両面で学びの場を確保している	専門職や関係機関からの助言を参考にしながら、客観的な視点を取り入れた支援の見直しを進めていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		事業所内の研修や外部研修を受講し、キャリアアップにつなげている	外部研修で得た内容を職員間で共有する仕組みをより明確にする	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		児童のアセスメントに基づく支援プログラムを作成し共有できる形で公表している	現在の支援プログラムの周知を継続し分かりやすい説明を心がけていく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		保護者の思いを聞いて、子どもの特性やニーズを分析して計画を作成している	アセスメントをもとにした支援計画作成を引き続き丁寧に行う	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		支援員から児童の普段の様子など聞き取りを行い計画の作成をしている	子どもの状況を踏まえた計画作成を継続して行く	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		常に計画を確認して支援にのぞめるようにファイルしている	常に、目標(支援内容)に注意して支援を統一できるように継続していく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		検査を受けている場合は、結果を頂いて支援を検討し、日々の行動の変化や、トレーニングの内容を記録している	日々の観察や記録を支援内容の検討に生かしていく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		子どもに必要な支援を熟考し、支援の内容を具体的に記載している。専門的な支援の計画も作成している	支援計画と実践の内容をさらに明確にし、専門性の高い支援が継続できることを目指す	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		日々その日のプログラムを全員で立てている	活動プログラムについて職員間で検討しながら内容の充実を図る	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	指導員が案を持ち寄り、固定化しないよう、日々内容を検討している	引き続き、子供の興味や様子に合わせ、活動内容を工夫しながら支援を行っていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	個別課題の時間と集団で活動する時間を設けている。子ども自身で行動を切り替えられるように支援している	気づいたこと等、支援ファイルに記録できるようにする(変化に気付くことができる)
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	毎日、療育時間前に打ち合わせを行い、支援内容や担当を決めている	担当を固定化せず、日々交代しているので支援の方向性を統一して支援を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	支援時間終了後に、その日の支援内容の振り返りを行い全員に共有している	職員全員が関われることにより、日々の記録だけでなく週・月単位での支援の変化を確認できるように工夫する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	支援内容や成果、その日の行動など記録し改善につなげています	日々の記録を支援の改善につなげられるよう引き続き取り組む
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	6か月に一度モニタリングを行っている。状況の変化など必要に応じて適宜、実施している	引き続き、定期的なモニタリングを行ない、子どもの成長や状況の変化に応じて支援計画の見直しを行っていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	個々のニーズに合った計画のもと、イベントや制作活動など取り組んでいる	4つの基本活動を意識し、活動内容の充実を図れるように、引き続き工夫していく
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	自己選択する機会を増やし自分の気持ちを表現する力が養えるように心がけている	自己選択の機会を増やし、子どもが主体的に活動できるよう、支援を継続していく	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	児童発達支援管理責任者が事前に打ち合わせを行ない出席している	関係機関との連携を大切にしながら情報共有を行ない、子どもにとってより良い支援につなげていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	協力医療機関と連携している	地域の保健・医療・福祉等の関係機関との連携を意識しながら、必要に応じて支援に活かしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	送迎がないので学校との情報共有の機会は少ないが保護者との相談の中で必要に応じて学校と共有している	引き続き、関係機関との連携を大切にしながら子どもにとってより良い支援につなげていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	必要に応じて情報共有をしている	放課後デイサービス(他事業所)を利用されている場合は、学校や他児童と支援会議で情報共有している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	現在まで対象者がいない	今後対象となる児童がいた場合に備え、関係機関との情報共有の体制を整えておく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	支援センターと連携を取り、研修に参加したり必要に応じて指導を受けている	必要に応じて専門職と連携しながら子どもにとってより良い支援を行っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	長期休みの期間を中心に、一緒に活動できる場を設けるように工夫している	地域の子どもと交流機会について子どもの状況に応じながら今後も検討して行く
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	10	今のところ参加できていないが、ネットワーク会議には参加している	地域の協議会の情報を把握し、参加の機会を検討していく
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	毎回の利用時送迎の際に保護者の方と情報を共有している	保護者支援の機会を大切にしながら家庭との連携を深めていく	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	定期的に家族会や学習会を開催し情報共有・提供・交流の場を設けている希望に応じてペアレントトレーニング等も行い、家庭での関わり方の支援につなげている	保護者支援の機会を大切にしながら家庭との連携を深めていく	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	利用契約時に丁寧な説明を心がけている	説明不足を防ぐために、重要点に印をするなどの工夫をして行く	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	子ども達・保護者と毎回会話し、要望を受け止めるようにしている	子どもや保護者の意向を確認しながら、支援計画の作成を行っていく	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		保護者の方に連絡し、時間を設けていただき内容をよく説明した上で同意を得ている	支援計画について丁寧な説明を行い、保護者の理解を得ながら支援を進めていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		いつでも相談に応じる体制を整えており、相談を受け付けていることを計画説明などの際に伝えている	保護者からの相談について、安心して相談できるよう引き続き丁寧な対応を心がけていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10		不定期だが、保護者会を開催し保護者同士の交流の場を設けている	兄弟同士の交流の場はまだ設けていないので、今後検討して行く
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		担当を設置し、申し出があった場合は、迅速に対応できるようにしている	保護者がより相談しやすい環境づくりを意識し、意見や要望を早期に把握できるよう引き続き、体制の周知と対応の充実に努めていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		紙面での連絡や、LINEでの発信を行っている。SNSでも活動内容を発信している	活動内容や取り込みについて、わかりやすい情報発信を行っていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		契約時に個人情報について同意をいただき、取り扱いに留意している	個人情報の取り扱いについて、引き続き適切な管理を行っていく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		視覚的ツールを使ったりわかりやすい言葉で伝えるようにしている。保護者にもわかりやすい説明を心がけている	子どもや保護者への配慮ある対応を心がけ、安心して利用できる環境づくりを行っていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		地域住民を招いての事業は設定できていない 今後は、地域の方と交流できる行事や活動を知っていただけの機会の検討を進めていきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		マニュアルの見直し、整備に努めている	防災に対する意識を高めながら安全管理に配慮した上を行うとともに、保護者への周知方法についても検討して行く
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPを策定し、訓練を行っている	非常時に備えた避難訓練等を継続して実施し安全意識の向上に努めていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時に保護者の方に確認し、定期的に確認し、適宜報告をしていただいている	子どもの健康状態について日々確認を行い、体調の変化に配慮した支援を行っていく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		提供してのおやつに対しては、調査して把握し、ひとりひとりが配慮している	アレルギー対応について、引き続き職員間で情報共有を行ない適切に対応して行く
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画を作成している。柵や滑り止めなど設置している	安全管理に配慮しながら、安心して過ごせる環境づくりを継続して行く
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		定期的に訓練を行っているが、その都度保護者に発信することはできていない	今後は取り組み内容について、保護者の方にも周知して頂ける体制を整えていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		常に意識して、ヒヤリハットを記録し、会議等で周知している	引き続き、ヒヤリハット事例を職員間で共有し、事故防止につなげていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		事業所内の研修ならびに外部の研修にも参加している	職員研修等を通して知識や支援技術の向上に努めていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		定期的に研修を行ない、身体拘束にあたる行動を把握している	必要な説明や確認を行ないながら、適切な対応を継続して行く	